

横越

第23号 平成29年2月1日
(2017)
コミュニティ協議会ニュース

発行 横越コミュニティ協議会
事務所 江南区横越出張所
新潟市江南区横越中央1丁目1番1号
電話 025-385-2111



明けまして
おめでとうございます

会長 本間 一人

皆様におかれましては、よい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は昨年、約五百人分のそばを打ちました。よくつなぎは何ですかと聞かれます。私達のそばは「そば粉八、小麦粉二」の二八そばです。

つなぎには、自然薯や山ごぼうの葉、ふのり等がありますが、私達の会はそばの種蒔き（八月）から収穫（十月）までをやり、小学校フェスティバル、新そばを味わう会、福祉事業としての施設訪問や地域の茶の間など、皆様と打ちたての



新年のご挨拶

江南区長 小野 克幸

あけましておめでとうございます。

一昨年の区長就任以来、子育て支援に努めてまいりましたが、福祉と言えは高齢者福祉も欠かせません。

超高齢、少子化が急速に進んでいる我が国では、これから福祉は、従来の介護保険などの公的サービスだけで対応することが困難になっています。

このため、市では福祉を地域全体で支える地域包括ケアの仕組みづくりを進めており、その中でも各区に地域包括ケア推進のためのモデルハウスを設置することにしています。

そばを楽しんでいます。

このそば粉は私が三年間そばの修行にかよった会津若松地域で栽培している「会津のかおり」と云う品種でとても美味しいそばです。そばの師匠・桐屋さんのご主人とは日本山岳会の山の仲間の縁でも繋がっています。



阿賀野川小杉地先 撮影 本間 一人

手をつなぐ、ボランティアで心をつなぐ、固い絆のつながり、農作業のつなぎ等々いろいろなつながりがあります。

糸魚川で年末というのに大火災が発生しました。心からお見舞い申し上げます。私達もこれまで新潟大火、新潟地震、台風等様々な災害に見舞われ、そして、多くの支援を頂きました。日本は災害国です。発生のたびに人々は心一つにして立ち上がり、頑張つて来ました。ニュースではふるさと納税が糸魚川市に集まっているとか。地域づくり、まちづくりこそが防災にも「つながり」です。コミュニティ協議会もつながりを重視し、活動してまいりますので、今年も宜しくお願ひ申し上げます。

子様連れの方など、誰もが気軽に立ち寄り、気兼ねなく自由に時間を過ごせる場になりたいと考えています。

横雲荘であれば、横バスや福祉バスも運行していますし、駐車場も十分あります。

まずは週2回程度の開催を予定していますが、将来的には、開催日を増やしたいと思います。

誰もが安心して住むことができる江南区、横越地区となるよう今年も努力していきますので、ご理解とご支援をよろしくお願ひします。



コミュニティ協議会活動について

副会長 佐藤 正明

一昨年より指定管理を行っている老人福祉センター「横雲荘」で、毎月一回、地域の茶の間を行ってまいりましたが、新年度から地域包括ケア推進モデルハウスとして週二回行う予定で準備を進めています。

今後、この事業をお手伝いくださるボランティア募集も行いますので皆様のご協力をお願いします。

十一月十三日には、『一生「そば」に寄り添って』、そば打ち合コンを約二十名の参加で行いました。結婚まで進展したカップルには、来春予定されている小阿賀野川舟下り結婚式をプレゼントする予定です。



そば打ち合コン

大江山地区コミュニティ協議会とともに要請していた小杉地区の阿賀野川堤防の治水工事が進んでいます。昨年



阿賀野川護岸工事 (小杉)

は、各地で地震、水害、年末には糸魚川の大震災が発生しました。市では、自治会毎の自主防災組織の立ち上げを推進しています。当協議会では結成した自治会に記念品として、日本赤十字社の交付金で購入した石油ストーブを進呈しています。

なお、今年度は江南区の「安心・安全な地域づくり」委託金と日本赤十字社からの交付金で携帯型発電機五台を購入しました。災害はもとより、地域の行事での電源として貸出しますのでご利用下さい。

当コミ協初代会長で、相談役の神田勝郎氏の編著による「横越の誇るべき先人たち」を発行します。発刊に併せて記念講演会を開催します。別途ご案内しますので、皆様方のご聴講をお待ちいたします。

これからも、地域の課題について対処してまいりますので、コミュニティ協議会にご相談やご意見をお寄せ下さるようお願いいたします。

やっつ年になりますよん

副会長 田村 唯次

昨年は熊本地震にはじまり、各地で地震、台風、大雨、そして糸魚川大火と災害の多い年でした。また、訳のわからない殺人事件が多くなってきていると感じます。世界では、グローバル化の矛盾による格差社会が拡がり、イスラム国、難民問題、ヨーロッパの政情不安、中国・ロシア・アメリカの動向等、心配なことがいっぱいあります。日本の政治と経済界には本当に期待したいと思いますが、どうなることやら。

まあ、どうしようもないことはさておき、出来ることから考えてみましょう。まずは家族・近所・地域に対し寛容になること。そして積極的に触れ合えることが重要だと思います。昨年十二月に、江南区自治協議会が主催した防災教室においても連絡し合える関係が重要で、普段からの付き合いや地域行事への参加が大切とのことでした。な



防災教室

るべく早く横越全地域に自主防災組織が設立されることを願います。

さて、横バスも年間利用者が三万人を超え、地域の公共交通として定着してきたものと喜んでいきます。残念ながら、阿賀野ルートは中止となつてしまいましたが、スクールバスを含め、今後の課題として取り組んでいきます。

平成二十九年、二〇一七年がやさしい年になりますよう願います。新年のご挨拶といたします。

横越健康センターの活用について (意見募集)

横越健康センターは、健康診断など健康保健事業で月に七、八日程度の稼働状況です。来年度以降、隣接する横雲荘とともに、福祉拠点としての様々な利用(ひまわりクラブ、地域の茶の間、地域の福祉活動など)

を検討しています。

その中で、四十歳以上の健診は従来どおりですが、乳幼児健診や育児相談については亀田健康センターへの統合を検討しています。

今後の横越健康センターの活用方法について、ご意見がありましたら、江南区健康福祉課(公三八二四三三〇)まで連絡をお願いします。

新潟市コミュニティ協議会に参加して

健康福祉部会 本間 儀徳

日頃、皆様から横越コミュニティ協議会の活動にご理解とご協力を頂いておりますことに感謝申し上げます。

さて、昨年十月二十六日に岩室温泉ほてる大橋館の湯にて、第二回新潟市コミュニティ協議会連絡会議が開催され、会長、副会長と私の三名で参加しました。会議は五つの分科会形式で行われ、私が参加した第三分科会では、「コミ協の認知度の低さ」をテーマに討論が行われました。広報紙の作成や自主防災組織の立ち上げ、多世代交流などのイベント活動を地道に続け、イベント時にはコミ協を前面に打ち出してPRするなどの意見が集約され、全体会で報告されました。

また、分科会などの場で、他の参加者に自主防災組織の立ち上げ状況を質問したところ、七〇八割が立ち上げ済みとのことでした。一方、当地域では三割程度にとどまっています。「災害は忘れたころにやってくる」とよく言われますが、最近では、次々と様々な災害が発生しています。いざ、災害が発生した場合、公的救助がすぐに駆けつけてくれるとは限りません。そんな時に救助の大きな力となるのが隣近所の人達であり、地域のコミュニティです。しかし、救助と言っても日頃から訓練をしていなければ、適切に対応する

ことは困難です。そのためには、各地域の自治会等が主体となつて自主的に防災組織を立ち上げ、ひとりでも多くの地域住民の人達から参加してもらつて、防災訓練（防災知識の普及・避難訓練・応急手当・初期消火訓練など）を行い、「自助、共助、公助」の効率的な連携によつて、災害に強いまちづくりを推進しなければなりませんと感じました。

なお、自主防災組織について知りたい方は、江南区横越出張所に広報チラシが用意されていますのでご利用ください。

今年もよろしくお願い申し上げます。

携帯型発電機五台を 防災訓練や地域イベントに貸し出し中

横越コミュニティ協議会では、地域の防災力向上のため、災害時に使用できる携帯型発電機を三台購入しました。また、赤十字奉仕団横越分団様の活動交付金より二台購入していただきました。いずれも江南区横越出張所で保管し、災害時に使用します。

災害時に誰でも使用できるよう、使い方の習熟も兼ねて、地域の防災訓練やイベントに貸し出しますので、多くの人から使っていたきたいと思えます。地域活動時に是非、ご利用ください。



携帯型発電機 本体重量13kg

お申込み
江南区横越出張所
☎三三五・二二一一

「新春・ふれあい餅つき大会」を開催

健康福祉部会 山本 美幸

一月九日、成人の日、新春恒例となつた「ふれあい餅つき大会」を開催しました。

お餅や豚汁の振る舞いや餅つきのデモンストレーションなどが行われ、約百五十人の皆さまから、非日常の美味しさと楽しさを感じてもらえたと思います。また、様々な体験ブースや地元商店のグルメなども楽しんでいただきました。

このイベントは、例年多くのご参加



餅つき体験

をいただいております、今年は広い部屋と駐車場のある「横雲荘」に移して開催しましたが、それでも狭く感じるくらいの人にご参加いただきました。特に子ども連れのご家族が多く、世代を超えた交流の場にもなつたと思います。

お餅を用意してくれた人、豚汁を作ってくれた婦人会の人、楽しいブースを開いてくれた人など多くの人のご協力に感謝しつつ、地域の人が地域の施設に集つて交流する現代では失われがちな行事を開催することができたことを嬉しく思います。



横越中学校創立七十周年記念事業と

「コミュニティ協議会活動

教育文化部会 小野塚 智恵子

横越中学校父母と教師の会の副会長の小野塚と申します。縁あってコミュニティ協議会（以下「コミ協」）の運営委員になって、間もなく一年が経とうとしています。当初、コミ協とは「何の団体で」「どのような活動をしているのか」未知の世界でした。コミ協とは、小中学校区を基本として、自治会・町内会を中心に様々な団体で構成される組織であるというものです。横越では、自治会・小中PTA・商工会・スポーツ振興会などがその構成員です。各組織が抱える問題や課題を、それぞ



横越中学校創立70周年記念式典

今後とも、コミ協運営委員として、皆様からのご意見・ご要望をいただきながら、横越地区がより住みよい地域になるよう取り組んでまいります。

それが持っているノウハウ（知識・技術・情報）を活用しつつ、行政と協働しながら解決を目指す活動をしています。



八重桜の記念植樹

平成二十八年、横越中学校が創立七十周年を迎えました。四つの記念事業を行うにあたり、コミ協からも多大なるご協力をいただきました。その一つが「記念植樹」です。昨年の十月十一日（月）午後、本間会長を来賓として迎え、横越中学校グラウンドに「八重桜」を五本、無事に植樹いたしました。八重桜の花言葉『豊かな教養』『善良な教育』は、まさに、横越の先人たちの「横越を教育村に」という思いを子どもたちに伝えていくに相応しいものであると思います。

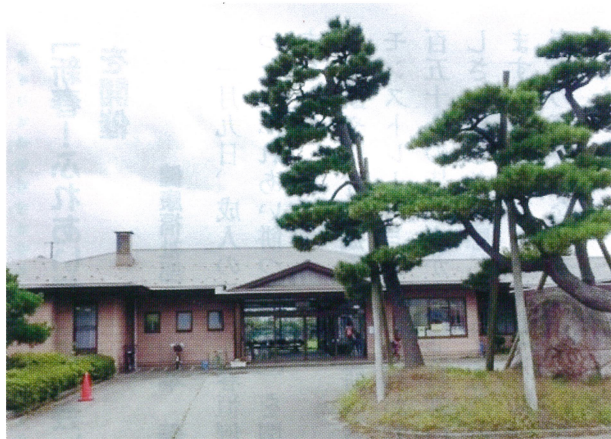
地域住民同士の

支えあいのつなみい

教育文化部会 坪谷 さゆり

明けましておめでとうございます。横越コミュニティ協議会のまちづくり・健康福祉・教育文化の各部会は今年も、地域の皆様のため活動していきます。

新潟市は介護保険制度の改正に伴う新たな地域支援事業として、各区に地域包括ケア推進の拠点としてモデルハウスを設置することになりました。江南区は横越地区の横雲荘内での活動となります。人と人がつながる場、人と社会がつながる場、誰もが気軽に助け合える場をつくるため準備していますので、よろしくご協力をお願い致します。



地域包括ケア「地域の茶の間」を開催する「横雲荘」

水を制するもの、世を制すると云った人がいた。この世に水は必要不可欠なものであることは、誰しも承知の上だが、さて、余るとこれまた大変厄介なものがある。そこで、前出の水を制するものとなるのであるが、水による災害が毎年発生している。表紙の写真は穏やかな朝のひとコマだが、阿賀野川は恵みの川でもあるが、光と影が同居していることも間違いない。

三方を川で囲まれている江南区は常に災害を念頭に置き、そして恵みに感謝することを忘れてはいけない。

話を先に戻すと、水を制するものとは云った人は、私の間違いでなければ武田信玄でないかと思う。そして、信玄が考案したものが、阿賀野川の千唐仁地先の川にある。丸太の三角形の木組みで名称は聖牛（せいぎゅう）という。信玄は水から住民を護るとともにその心を掴んだのだと思う。

（本間）



阿賀野川の聖牛（せいぎゅう）

編集後記